

➤ 13日 火曜

列王Ⅱ

23:1 王は使者を遣わして、ユダとエルサレムのすべての長老たちを彼のところに集めた。

23:2 王は、ユダのすべての人々、エルサレムのすべての住民、祭司と預言者、および下の者から上の者まで、すべての民とともに

【主】の宮に上り、【主】の宮で見つかった契約の書のことばをすべて彼らに読み聞かせた。

23:3 それから王は柱のわきに立ち、【主】の前に契約を結び、【主】に従って歩み、心を尽くし、いのちを尽くして主の命令と証しと掟を守り、この書物に記されているこの契約のことばを実行することを誓った。民もみなこの契約に加わった。

23:4 王は大祭司ヒルキヤと次席祭司たち、および、入り口を守る者たちに命じて、バルやアシェラや天の万象のために作られた祭具をことごとく【主】の神殿から運び出し、エルサレムの郊外、キデロンの野でそれらを焼き、その灰をベテルへ持って行った。

23:5 彼はまた、偶像に仕える祭司たちを取り除いた。ユダの王たちが任命して、ユダの町々やエルサレム周辺の高き所で犠牲を供えていた祭司たちである。バルや太陽や月や星座や天の万象に犠牲を供える者たちも取り除いた。

23:6 彼はまた、アシェラ像を【主】の宮からエルサレム郊外のキデロンの谷に運び出し、それをキデロンの谷で焼いた。それを粉々に砕いて灰にし、その灰を共同墓地にまき散らした。

23:7 さらに、【主】の宮の中にあった神殿男娼の家を打ち壊した。そこでは、女たちがア



シェラ像のために覆いを織っていた。

23:8 彼はユダの町々から祭司たちをみな連れて来て、祭司たちが犠牲を供えていたゲバからベエル・シェバに至るまでの高き所を汚し、門にあった高き所を打ち壊した。それは町の長ヨシュアの門の入り口にあり、町の門に入る人の左側にあった。

23:9 高き所の祭司たちは、エルサレムの【主】の祭壇に上ることはなかったが、その兄弟たちの間で種なしパンを食べていた。

ヨシヤ王は自分が指導者であることを主のために用いて、「すべての長老たち」を集めて「主の宮で見つかった…契約の書を…読み聞かせ」しました。誰でも自分が影響を与えられる人がいるものです。大勢を指導する立場ではないとしても、その誰かに対して信仰の良い影響を与えるように考えましょう。

ヨシヤは多くの偶像を取り除きましたが、これほどのものがユダの国にあったとは、改めて驚くばかりです。これらは長年に渡って少しずつはびこって来たのでしょう。人々はおそらく慣れっこになってしまい、罪悪感がなくなっていたと思われるかもしれません。これはまさに私たちの信仰のようです。もしかしたら自分でも感じなくなっている部分に、不信仰や偶像が巣くっているかも知れませんから、注意が必要です。

「アシェラ像を…粉々に」とあります。主のみこころに反するものが分ったなら、手心を加えずに徹底的に取り除きましょう。そうすれば聖霊がもっと働いてくださり、すばらしい神様の栄光を見せていただくことができます。それを信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

